

## 【研究課題】

新規リザーバーシステム (System-*i*) を用いた肝癌治療

## 【はじめに】

我々はこれまでに、手術による治療が不能な肝細胞癌や手術や全身化学療法が無効な転移性肝癌に対して肝動脈化学塞栓療法 (TACE : transarterial chemoembolization) や動注リザーバーを用いた肝動注療法を行ってきました。これらの治療法は、患者さんの疾患 (腫瘍の性質、数、大きさ、分布、転移の有無など)、全身状態や合併症の有無によって決めています。ときに短期間に繰り返しの治療が必要な場合や、複数の治療を同時に組み合わせて行う治療が必要な場合があります。この場合、これまでの動注リザーバーシステムを用いた治療では入院期間が長くなったり、治療効果が不十分であったり、という問題点もありました。そこで、我々は 2000 年より System-*i* という新規リザーバーシステムを利用して治療を行ってきました。

## 【研究概要・目的】

我々はこれまで、System-*i* という新規リザーバーシステムを利用して治療を行ってきましたが、その治療成績について評価する必要があります。そこで、今までに治療を行った患者さんの背景因子・治療効果・予後等を解析し、今後の治療に生かしたいと考えています。

## 【研究対象】

公立八女総合病院肝臓内科において 2000 年 1 月 1 日から 2013 年 12 月 31 日までに肝細胞癌または転移性肝癌の診断で System-*i* という新規リザーバーシステムを用いて治療を行った方が対象です。

## 【研究方法】

本研究では患者さんのカルテを閲覧させて頂き、背景・治療効果・予後等の必要な項目のみを抽出させて頂き、解析に使用させて頂きます。

この研究を行うことで患者さんに余分な負担が生じることはありません。

## 【研究期間】

研究を行う期間は 2013 年 1 月 1 日より 2018 年 12 月 31 日まで 5 年間です。

## 【医学上の貢献】

本研究の対象となった患者さんが直接受ける利益はございませんが、この研究成果によっては肝腫瘍に対する有効な治療法となり得、多くの患者さんの治療に貢献できる可能性があります。

## 【個人情報の保護と管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、公立八女総合病院においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者へ個人情報が漏れないように十分配慮しております。

また、今回得られた結果は学会や論文として医学雑誌に発表させて頂くことがあります。患者さんを特定できる情報は一切含まれることはなく、患者さんのプライバシーの保護には十分配慮致します。

## 【本研究への参加】

この研究の妥当性は当院倫理委員会の承認が得られています。本研究では個々の患者さんに対して同意を取得することは致しませんが、データを利用することにご同意を頂けない方は以下の問い合わせ先もしくは主治医にご連絡ください。その際はデータを削除致します。たとえご同意を頂けない場合であっても患者さんに対して最善の治療を行いますので患者さんが不利益を受けることは決してありません。ただしすでに研究結果が論文等に公表されている場合にはその結果は訂正できませんのでその際はご了承ください。

## 【問い合わせ先】

公立八女総合病院 肝臓内科 永松 洋明  
〒834-0034 福岡県八女市高塚 540 番地 2  
電話：0943-23-4131